

ガソリンスタンドは 災害時の支援拠点



ガソリンスタンドは建設時に高い安全基準が課されているので安全です！近くのスタンド位置をチェックするべし！



震災がおこる前に ちょっと安全対策

阪神・淡路大震災では家具が凶器になって挟まれたり、家の崩壊で多くの死亡者・負傷者が出ました。家庭でのちょっとした安全対策で命が守れます。

STEP 1 冷蔵庫・家具・本棚は、転倒防止策を！

.....

STEP 2 高い所に重い物や危険物を置かない！

.....

STEP 3 出入口は安全スペースを！

.....

STEP 4 ガラスの飛散防止に、窓には飛散防止シート、食器棚にはストッパーを！

.....

STEP 5 寝室には大型家具はおかない！

.....

STEP 6 不安な家は、耐震調査を！



※転倒防止にクサリやツツバリ縛を。

災害お役立ち品

(阪神大震災・新潟地震で実際に役立ちました)

- ・懐中電灯
- ・食料品
- ・ラップ、ホイル
- ・ビニール袋
- ・小型ラジオ
- ・トイレトペーパー
- ・乾電池
- ・ウェットティッシュ
- ・手袋、軍手
- ・小銭
- ・使い捨てカイロ
- ・カセットコンロ、ボンベ
- ・下着
- ・紙器、紙コップ
- ・飲料水
- ・帽子
- ・生理用品
- ・ガムテープ
- ・新聞紙
- ・携帯電話
- ・充電機
- ・緊急トイレ
- ・ペットボトル
- ・薬



災害伝言ダイヤル 171

災害発生により、家族・友達の安否確認や問合せの通信が増加し、電話がかかりにくくなります。そのような状況が発生した場合に開始されます。

一般電話・携帯電話
公衆電話から利用で
きます。

171番

＜被災地で伝言録音＞

171にダイヤル

▼
録音の場合「1」

▼
自宅の電話番号をダイヤル

0000-00-0000

▼

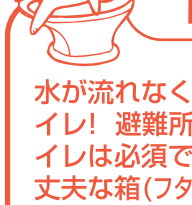
＜被災地以外で伝言再生＞

171にダイヤル

▼
録音の場合「2」

▼
被災地方の電話番号をダイヤル

0000-00-0000

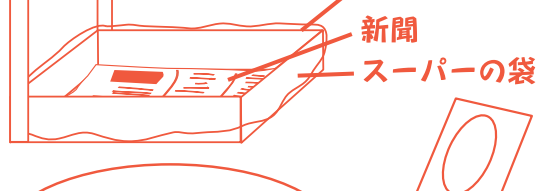


トイレに困って調子が悪くなっ
た人が多数いたんだワン！

トイレどうする？

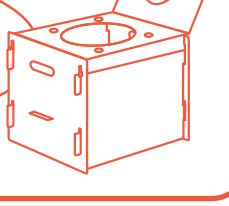
水が流れなくなると、困ってしまうのがトイレ！避難所のトイレは長蛇の列！簡易トイレは必須です。

丈夫な箱(フタ付くつ箱等)にスーパーの袋をかぶせて、中に新聞を敷けば繰り返し使える即席トイレに！



※高くても耐久性の
ある緊急トイレも
用意しましょう。

！ 新潟地震で実際に使用
されました



水の確保



3日間生活するのに、一人一日3ℓが目安！4人家族なら36ℓと言われています。しかし実際2ℓボトル18本もの量を保管しておくのは・・・。

家の中には隠れた水が
ストックされています。

● トイレタンク約10ℓ。

● 冷蔵庫の氷と製氷用タンクの水約2～3ℓ。

● 風呂の残り湯200～300ℓ。

そう考えると、12ℓで準備OK！

※あくまでも3日間の目安

ですから災害時は何日続

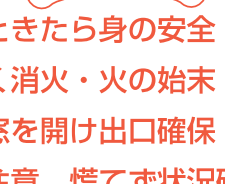
くかわからないので水は

いくらあっても無駄では

ありません。



地震対応十箇条



① グラッときたら身の安全

② すばやく消火・火の始末

③ 玄関や窓を開け出口確保

④ 余震に注意、慌てず状況確かめて

⑤ 家族近所の救出・救護

⑥ ラジオをつけろ

⑦ 避難の前にガス栓しめろ！ブレーカー切れ！

⑧ 非常持ち出し品持ち、靴を履く

⑨ 車で逃げるな、門や塀には近寄るな！

⑩ デマで動くな、自主防を中心に

